

令和7年度学校評価自己評価表

東広島市立小谷小学校

学校教育目標
学び続ける力の育成
経営理念

めざす児童像
自分を見つめて学ぶ子・仲間とともに深く学ぶ子

「児童が学びたくなる」「教職員が誇りとやりがいをもてる」「保護者や地域が通わせたい」学校

	中期 経営目標	短期 経営目標	子ども・ 学校の姿	目標達成のため の方策	達成目標	評価 担当	評価 時期
自分を見つめて学ぶ 仲間とともに深く学ぶ	・自己の課題や能力に応じて学びを深める児童を育成する。	・分かるための努力を惜しまず、「学ぶことが楽しい」と実感できる児童を育成する。	・解決に向かって主体的に学んでいる。	振り返りを充実させる。	「自分や友達の学びを振り返ることで『分かった・できた・がんばった』を実感できましたか。」という質問に対して肯定的回答の児童の割合80%以上。	研修	7・12月
	・互いに認め合い、高まり合う集団を醸成する。	・友達の考えや思いを受け止め、認める集団を育成する。	・友達との関わりを大切にしている。	年間4回縦割り班で遊ぶ日を設定し、異学年交流を充実させる。	「縦割り班でいろいろな学年の人と活動することは楽しい。」と思う児童の割合80%以上。	生徒指導	
				各学級で月1回以上外遊びをする。	「友達と体を動かすことが楽しい」と実感している肯定的回答の児童の割合80%以上。	保健安全体育	
コミュニティ・スクールの推進	(かかわる) 誰にでも、自分からコミュニケーションをとろうとする児童を育成する。	地域や保護者の方々に、進んであいさつなどをしようとする児童を育成する。	出会った人(地域の方・来訪者・先生・友達)に気持ちのよいあいさつをしている。	登校班・児童会を中心に、あいさつ名人の取組を行い、頑張り を称賛する。	「すすんであいさつができるようになった。」と思う児童の割合80%以上。	生徒指導	7・12月
	(ふれあう) 様々な人と主体的に関わり、学校や学校以外の活動に積極的に取り組む児童を育成する。	自分のお世話になっている様々な人と関わり、相手のことを理解する児童を育成する。	地域の人やお世話になっている人とふれあう機会が増えている。	各教科等の授業、YDK教室、特別活動(委員会、クラブ、行事など)で地域の方々にご協力いただく機会を積極的に増やす。	総合的な学習の時間の学習・生活科・体育・家庭科・図画工作・算数などの授業にご協力いただく回数を各学年年間3回以上計画する。	教務	
	(ひろげる) 積極的に地域に貢献する児童を育成する。	様々な人の思いを理解し、自分のできることを考える児童を育成する。	地域の人やお世話になっている人に感謝の気持ちを伝えたり、自分たちのできることを考える機会が増えている。	生活科や総合的な学習の時間等を通して、気持ちの伝え方や自分たちのできることを考えさせる。	総合的な学習の時間の学習・生活科などの授業で地域の方とともに学ぶ場面を設定し、学習発表会や参観日などで学んだことや考えたこと、感謝の気持ちを発信する機会を年間2回以上設定する。	担任	